

地理総合

対象クラス	第2学年 全クラス	単位数	2
使用教科書	高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる(第一学習社)、新詳高等地図(帝国書院)		
使用副教材	学習事項の整理と作業 地理総合ノート(第一学習社)		

「公共」とはこんな科目です
 世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解し、地理に関する様々な情報を調べ、まとめる技能を身に付ける科目です。

科目の到達目標(目標とする検定等)
 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を育成することを目指します。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場面・方法等
知識・技能(技術)	4	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用い、地理的な情報を調べ、まとめる技能を身につける。	・小テスト ・整理ノート ・定期考査
思考・判断・表現	3	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	・レポート課題 ・ワーク(振り返り)シート ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	3	よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。	・ワーク(振り返り)シート ・授業時の議論の様子

学習計画(どのような内容を、どのような時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	1-1 地図や地理情報システムと現代世界 【前期中間考査】	球面上の世界と地図 国家の結びつきとグローバル化する社会	・方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 ・地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 ・地図や地理情報システムを用いて地理情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 ・現代世界の地域構成について、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地図や地理情報システムについて、多面的・多角的に考察し、表現する。
前期期末	2-1 生活・文化の多様性と国際理解 【前期期末考査】	世界の生活・文化・気候 衣・食・住から見る世界 多様性に富んだ世界の人々との共生	・人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 ・自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 ・その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。
後期中間	2-2 地球的課題と国際協力 【後期中間考査】	持続可能な社会を目指して すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて 自然と調和した豊かな社会に向けて	・地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 ・地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解する。 ・地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。
学年末	3-1 自然環境と防災 3-2 生活圏の調査と地域の展望 【学年末考査】	自然環境と防災 生活圏の調査と地域の展望	・自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 ・ハザードマップや新旧地形図などの情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。 ・地域性を踏まえた防災について、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法について理解する。 ・生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。